

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
和歌山県

行 事 名 称	文化財防火デーに伴う善福院消防訓練
実施期間・日時	令和7年1月28日（火） 9時30分～10時30分
実 施 場 所	国宝 善福院釈迦堂
主 催 者	海南市消防本部

■実施内容

訓練の想定

参拝者の火の不始末により善福院本堂より出火、火は風にあおられ北側山林にも延焼の恐れがある。また、重要物品を運び出していた1名が取り残されているという想定で訓練を実施する。

訓練の内容

住職による消防への火災通報訓練、寺関係者による重要物品等の搬出訓練及び消防用設備を使用しての火災防御訓練、消防隊による現地指揮本部の設置及び火災防御訓練

参加者及び役割分担

善福院関係者 (2名): 119番通報、初期消火、重要物品の搬出
 梅田地区住民 (3名): 初期消火、重要物品の搬出
 海南市消防団 加茂分団 (5名): 放水訓練
 海南市消防本部 (5名): 全体統括・講評
 下津消防署 (9名): 放水訓練
 海南消防署 (4名): 放水訓練
 海南市教育委員会 (4名): 現場立会い

特に工夫した点

令和5年度～6年度に防災設備の改修工事を実施しており、新たに設置した消火設備（放水銃）を活用し初期消火訓練を実施した。また、訓練終了後、寺関係者及び地区住民に対し、新たに設置した消火設備の取り扱いについて説明をおこなった。

問題点・課題

地区住民の高齢化による訓練参加者が減少している。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



関係者による初期消火